

その他部局等



県内外の大学・公共図書館との連携で地域の学びを支える

附属図書館

教育 研究 社会貢献



【活動概要】

鳥取大学附属図書館は「鳥取大学附属図書館ビジョン」に基づき、大学の基本理念である「知と実践の融合」を実現するため、教育・研究を支援する学術情報基盤拠点としての役割を担っています。教員・学生との協働のもと、学生の多様な学修環境を整備するとともに、研究を推進するための電子的リソースを中心とした学術情報を安定的に提供しています。さらに、学内で創成される教育・研究成果を発信・保存するポータル機能を担い、知の循環を支えています。

また、地域社会に貢献する「地域の知の拠点」として、公共図書館や大学図書館などとの資料貸借、文献複写、レファレンス業務を通じて、積極的な連携・協力を進めています。これにより、社会全体の財産である学術情報を共有し、学術の発展とSDGsの達成に貢献しています。

学術情報の提供



中央図書館書架



中央図書館閲覧室



個人学修用ブース



SDGsに関する展示

他の図書館との連携



県内外図書館との資料の貸借、文献複写



学内に移動図書館車

【担当】図書館情報課

鳥取大学カーボンニュートラル宣言について

研究推進機構 研究推進部

教育、研究、社会貢献、大学運営



【活動概要】

本学では、鳥取砂丘の砂防造林の研究を端緒とする乾燥地研究をはじめとする環境問題に関する様々な研究を通して、地域・国・世界への貢献に取り組んできました。このような活動を一層加速し、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現に貢献するため、本学では令和4年6月28日にカーボンニュートラル宣言を発出しました。また併せて、カーボンニュートラル行動方針を推進します。

『鳥取大学カーボンニュートラル宣言』

鳥取大学は、二酸化炭素排出量を、2030年に2013年比60%、2040年には75%削減し、遅くとも2050年までに、実質的なカーボンニュートラルを目指します。そのため、温室効果ガス排出削減に資する本学独自の研究およびイノベーション創出を推進します。

■鳥取大学カーボンニュートラル行動方針

- ・省エネルギー、資源節約の徹底、低二酸化炭素排出量の電力事業者との契約導入、再生可能エネルギーの利用拡大。
- ・浜坂地区における先行取組、湖山地区におけるイノベーション・コモンズ構想、米子地区におけるスマートホスピタル構想の推進。
- ・地球温暖化・気候変動、グリーンエネルギーの創出、次世代二次電池、エネルギー削減や二酸化炭素排出削減に資する固体触媒、低炭素社会を目指した社会基盤構築、温室効果ガスを排出しにくい作物開発、未利用生物資源の有効活用など、本学ならではの研究活動および関連する産学連携活動と研究成果の社会実装の推進。
- ・環境に関わる一般基礎教育、専門教育、SDGsの達成に取り組める人材の育成を更に加速し、カーボンニュートラル実現に貢献できる人材を教育・育成。
- ・地方自治体および地域の産業界、金融界との緊密な連携による、地域におけるカーボンニュートラルの推進。



地球温暖化、気候変動に関わる研究拠点：乾燥地研究センターの「リドーム」と社会実装を目指すパタフラム風車（浜坂地区）

【担当】研究推進機構、研究推進部

地域のさまざまなステークホルダーとのパートナーシップによる地域創生に 資する人材育成と課題解決の取り組み

地域価値創造研究教育機構
地域未来共創センター
Tottori uniQ

大学運営



地域連携プラットフォーム

さまざまなステークホルダーとのパートナーシップによる産業と技術革新の基盤づくり、住み続けられるまちづくり。



アントレプレナーシップ教育

鳥取の未来を切り拓くイノベーターを育成。地域との共修を通じ、関係人口創出にも寄与する。



リカレント教育

社会人の学びの環境を整え、プログラムを提供し、地方創生を目指す。

【活動概要】

- 地域価値創造研究教育機構「地域未来共創センター」（愛称：Tottori uniQ）は、「とっとりユニーク」（本学独自の知を活用し、地域と世界に"Unique"を発信）を具現化する拠点です。
- これまで以上に地域との連携を深め、課題解決と新たな価値創造を目指すため、恒常的な議論の場である「地域連携プラットフォーム」を構築しました。このプラットフォームを通じて、さまざまなステークホルダーとのパートナーシップを築き、県内19市町村が抱える課題や地域に眠る地域資源を掘り起こします。そして、大学の知恵・技術・若い力を掛け合わせることで、多様な地域課題を解決し、新たな価値を生み出します。これらの取り組みにより、「産業と技術革新の基盤」や「人口減少下でも住み続けられるまち」をつくり、その成果を全国・世界へ発信します。
- 学生に対しては、アントレプレナーシップ教育を通じて、時代の変化が生み出す課題を捉え、果敢にチャレンジし、失敗からも学べるレジリエンスをもって、価値創造から社会変革に取り組み鳥取の未来を切り拓くイノベーターを育成します。また、地域と学生との『共修』、豊かな『ふれあい』を通じて鳥取への『愛着』を育み、鳥取に深く根ざして活力を生み出す『地域定着』人材の輪を広げます。さらに、『関係人口』の増加も促進し、多様な人々が鳥取で活躍できる未来を創造します。
- 経営者をはじめとする社会人に対しては、経営学、DXやAIなどのアップデート、社会人基礎力の強化に関する学びを提供します。これにより、事業を承継し発展させる、新たな事業を起こす、地域に新たな価値を創造することのできる人材を育成し、「リカレント教育と地方創生の好循環」を目指します。

【担当】 地域価値創造研究教育機構

中国電力との共同オリジナルカードゲーム制作

学生 Small CoRE
project 採択団体

TORICEF

教育、社会貢献、課外活動



【活動概要】

現在、世界的に地球温暖化に伴う気候変動等が問題視され、その対策として世界中で再生可能エネルギーを用いた発電方法が注目されています。私たちは中国電力の方と協力して若者男女がわかりやすくエネルギーについて学べるコンテンツを作成することにしました。

ただ今、私たちは中国電力の方々とカードゲーム作りを行います。

なぜ、カードゲームなのか...

その理由は多世代の方が気軽に楽しみながら学ぶことができると考えたからです。

また私たちTORICEFは、2つのオリジナルカードゲームを作成している実績があり、

その経験を活かし、新たなカードゲームを作りたいと考えたからです。

カードゲームの概要は、盤面の資源を取り合い、環境とエネルギーに

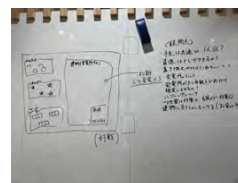
配慮しながら、それぞれの町を発展させていきます。

ほかにも、時折起こる災害などの対策も必要になります。

ただ今、製品化できるように鋭意製作中です。

定例会

メンバーと製品化に向けて週に一度行っています。時折中国電力の方を招いて行っています。



実際のホワイトボード

より良いものになるように、必ず良い点と課題点を出すようにしています。



カード案

写真も鳥取にある場所を使用しております。

2

【担当】

TORICEF (地域未来共創センター 「学生 Small CoRE project」 採択団体)

カード案写真の出典元

https://www.eheya.net/sumicoco/2024/ranking/tottori/sumitai_area.html
<https://ameblo.jp/tankura/entry-12640514193.html>

地域課題の解決を目指す実践教育と、学生発の地域貢献活動の創出

大学運営



「学生 Small CoRE Project」活動概要

「学生 Small CoRE Project」は、学生の地域貢献活動を支援する地域価値創造研究機構 地域未来共創センターの取り組みです。学生が自ら企画・運営する課外活動に対し、地域活動の企画立案を促し活動費を助成することで、自主的な地域貢献への挑戦を後押し、実践活動をマネジメントします。

プロジェクトの目的

プロジェクト名の「CoRE」には、Community（地域社会）とRelationship（つながり）、そしてEducation（教育）とEnrichment（豊かさ）の頭文字が込められています。「学生 Small CoRE Project」という名には、「小さな核」となって地域に貢献する人材を育成するという鳥取大学の理念が根底にあります。学生は自ら地域の課題を発見し、同志を募りながらその解決策を企画・実行する過程を通じて、実践的なスキルを養います。また、自らの意思によって地域住民との交流を深めることで、鳥取県の文化や社会への理解を深めます。こうした活動が、学生の成長を促すと同時に、地域との絆を深め、ひいては多岐にわたるSDGs活動の発展へとつながることを目指しています。

活動内容と意義

本年度は学生団体8組を採択し支援しています。子ども向けのSDGs体験学習やフードロス削減の取り組みなど、学生の多様なアイデアの実現を支援しています。この教育プロジェクトは、学生が地域社会の一員として課題解決に参画する機会を提供し、地域に新たな活力を生み出します。学生と地域住民が一体となって未来を創造する、まさにSDGsを推進し共創する場づくりと言えます。

本年度支援しているプロジェクト8組：「いちばんはじめの性教育」を考える絵本プロジェクト」「TORICEF SDGs工作プロジェクト」「TORICEF 中国電力とのオリジナルカードゲームの共同制作」「ばばのばプロジェクト ～駄菓子を通じて人の縁を紡ぐ～」「ばばのばプロジェクト ～駄菓子の縁は日野町へ～」「結梨 梨や柿について楽しく知ろう！」「チーム・地産知承」「すなめぐ」

【担当】地域価値創造研究教育機構 地域未来共創センター

地域未来共創センター 学生 Small CoRE project

支援する学生プロジェクト例 ①



結梨（ゆいりん）

鳥取の特産である梨や柿を通じ、子どもたちに地産地消やフードロスを伝える。廃棄される果物の美味しさを体験する料理イベントや、クイズで楽しく学べる企画を公民館等で開催し、地域との繋がりを育む取り組み。

支援する学生プロジェクト例 ②



ばばのばプロジェクト

世代を超えて愛される駄菓子を通じて、人と人とのつながりを生み出すコミュニティ活動。駄菓子屋の枠を超え、誰もが笑顔で交流できる温かい居場所づくりは、孤立化の予防にも繋がり、ウェルビーイングなまちづくりを推進する。

鳥取の梨を通じた子ども食育

教育、社会貢献、課外活動



【活動概要】

結梨は梨農家のもとで栽培を学んでいます。団体の取り組みの一部で、その知識や経験を活かして子どもたちに梨の魅力を伝える活動を行っています。

子ども食堂や公民館では、梨を使ったカレーやパウンドケーキづくりをはじめ、手づくりのゲームや梨クイズ、ワークショップなどを通じて「食育」を実践しています。

これらの取り組みは、子どもたちの栄養改善や健康的な食習慣づくりに役立つだけでなく、地元の梨を使うことで地産地消や食品ロス削減の意識を育むことにもつながっています。

また、子ども食堂や地域の方々と協力することで、地域とのつながりを深めています。

【担当】結梨

（地域未来共創センター「学生 Small CoRE project」採択団体）

学生 Small CoRE project

採択団体

結梨



梨クイズ

調理後、食後に梨や鳥取に関するクイズを行っています。

梨の収穫体験

子どもたちと一緒に梨カレーなどを作るだけでなく、体験型のイベントも行っています。これは、日頃お世話になっている観光園で収穫体験を行いました。



クリスマス会

千代水公民館で梨のパウンドケーキ作りを行いました。

学生・教職員の心身の健康を守り育み 安心して学び働けるキャンパスへ

保健管理センター

教育、大学運営、社会貢献



【活動概要】

全ての学生・教職員が、心身の健康を保ち、安心して学び働き、力を発揮でき、健康づくりを実践できるよう、医師、保健師・看護師、カウンセラーが連携して活動しています。

● 健康支援

- ・健康相談・カウンセリング：不安や心身の不調に対応しています。HPお問い合わせフォームからいつでも申込できます。
- ・学生健康診断：心身の不調をスクリーニングし、早期対応・支援を行っています。
- ・測定機器：体組成計(Inbody)・視力計等の測定機器を設置し、セルフケアに利用できます。スタッフによるアドバイスも行っています。

● 健康アドバイス(教育)

- ・食事・運動・睡眠など生活習慣について、心身の健康を保てるようアドバイスしています。
- ・コミュニケーション・メンタルヘルスについて、少人数のグループで学べる機会を提供しています。セルフケアに役立つ資料をHPに掲載しています。

● 誰もが安心できる環境

- ・性・LGBTQ+や国籍などにとらわれず、誰でも利用できる環境整備に努めています。
- ・障害や疾患、個々のニーズに応じた個別支援を行っています。
- ・相互理解を深めるための啓発活動を行っています。

● 連携

学内部署や地域と連携し、プレコンセプションセミナー、AED・エピペン講習、学生歯科健診やがん予防など地域の健康増進への取組を行っています

カウンセリングルーム(個室)

プライバシーに配慮された安心な環境で相談・休養できます

休養室(個室)

自動視力計

Inbody

自動血圧計

測定機器やフードモデルを用いてアドバイスをしています

フードモデル

カウンセラーと一緒に体験します

グループワーク

【担当】保健管理センター

誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスづくりを推進

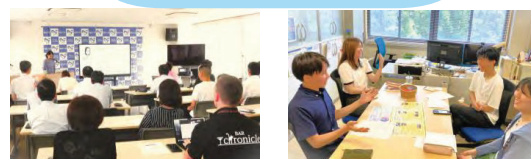
ダイバーシティ キャンパス推進室

【推進室の基本方針】

多様な個性・価値観やライフスタイルを尊重しあい、
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、
誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスづくりを推進します



多様な構成員の共生環境づくり



講演会「多様性を活かして
元気の鳥取大学をめざして」

学生スタッフミーティング

キャリア形成支援



企業見学会

プレコンセプションケア・キャリアデザインセミナー

過ごしやすい環境づくり



相談対応・休憩スペース

オールジェンダートイレ設置
生理用品の配置

研究活動支援

◆研究支援員制度

出産・育児・介護等により
研究時間の確保が困難な
研究者に研究支援員を
パートタイム職員として雇用し
研究者のキャリア形成・研
究活動の維持向上を支援

ライフイベント支援

◆育児・介護・治療等との 両立支援セミナー

◆意識調査の声を反映し た取組み

キャリア形成支援

- ◆キャリアデザイン研修
- ◆プレコンセプションケア
セミナー
(共催：保健管理センター・
鳥取市・県)
- ◆サバティカル体験談
- ◆企業見学
(共催：キャリアセンター)

多様な構成員の 共生環境づくり

- ◆ダイバーシティ講演会
- ◆大学入門ゼミ(DEI)
- ◆ニュースレター発行
- ◆意識調査
- ◆学生スタッフ活動
県や市など連携した啓発

担当：ダイバーシティキャンパス推進室 総務企画部人事課
連携：鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター



Tottori University Office for Campus Diversity
鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室